

経営比較分析表（令和元年度決算）

鹿児島県 長島町

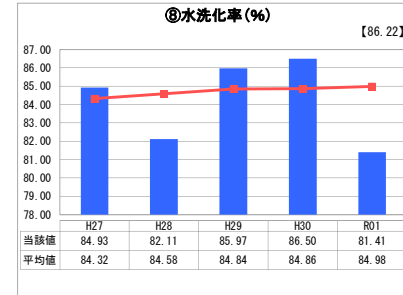
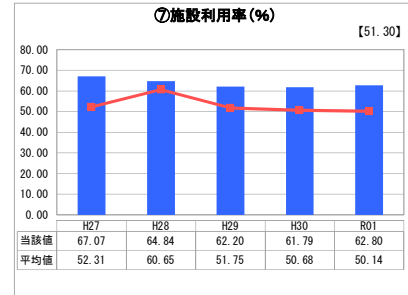
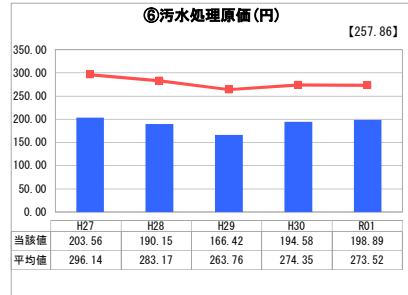
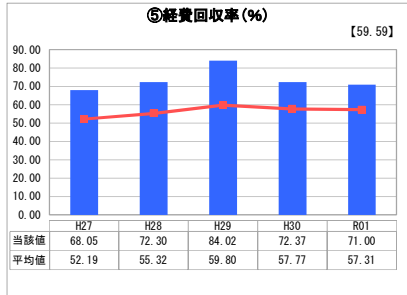
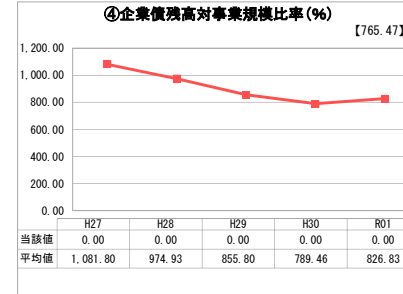
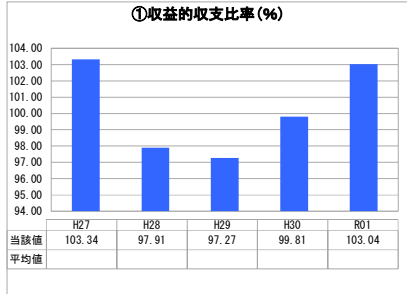
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.65	117.66	3,350

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,386	116.19	89.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
990	2.50	396.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
令和元年度は、計画的な施設の更新や維持管理に努め、数値としては103%を超える結果になった。収益については、一般会計からの繰入に依存しているのが現状であり、今後においても経営改善に向けた取組を進める必要がある。

⑤経費回収率
経費回収率は、前年度より若干下回ったが、類似団体との比較では上回っている。今後も引き続き農業施設への接続加入世帯を増やし、適正な使用料収入を確保する必要がある。

⑥汚水処理原価
数値としては、前年度より若干上回ったが、類似団体と比較して低い状態で推移している。今後、老朽化に伴う修繕費等の増加や人口減少に伴う有収水量の減少等の要因により、当該値が増加する可能性もあるため、引き続き合理化及び加入促進に努める必要がある。

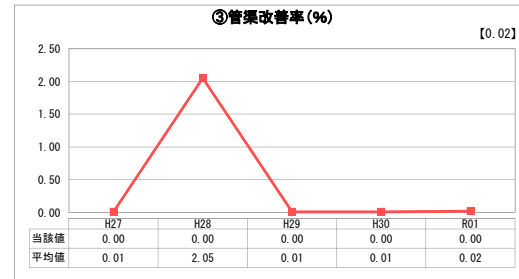
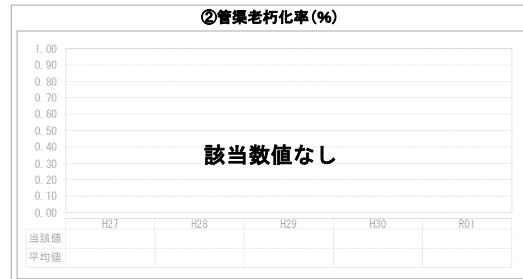
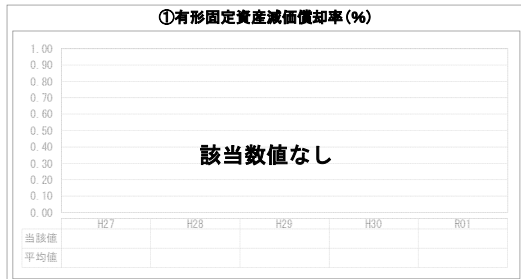
⑦施設利用率
施設利用率はほぼ横ばいで推移しており、類似団体と比較して約12ポイント高い。現状では、施設規模が過大ではないと判断しているが、今後も流入汚水量の推移に合わせて、適切な施設規模の維持に努める。

⑧水洗化率
前年度より約5ポイント減となり、類似団体と比較しても約3.5ポイント下回った。今後も水質保全の観点から農業施設への加入促進に努め、加入率を上げることに伴って施設利用率の増加にも繋げていく。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
農業集落排水施設の機能強化を図るため、平成25年度に補助金を利用し、排水路管路工事及び電気設備等の改修を実施した。
平成30年度実施の機能診断及び令和元年度策定の最速整備構想をもとに、後は施設の老朽化対策を計画的に実施する予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

収益的収支比率が100%を超えて黒字の収支となったが、依然として使用料収入が乏しく汚水処理経費全てを賄うことができないため、一般会計（繰入金）への依存が高い状況にある。今後の新規加入者もあまり見込めないため、投資の効率化や維持管理費の削減、水洗化率の向上に取り組む必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。